

新議長・副議長に聞く



5月15日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に大西洋紀議員、副議長に宮坂祐太議員が選任されました。議会の代表である2人に、市政の課題や市民へのメッセージなどについて聞きました。

明石公園

副議長

みやさか ゆうた
宮坂 祐太 (35)

フォーラム明石 3期

議員としての抱負 「一歩一歩着実に、前進あるのみ」

副議長に聞く

高齢者施策の充実

元気で健康な高齢者が活躍でき、支援が必要となった場合でも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備していきます。たこバス運賃を無料にする外出支援のほか、高齢クラブへの助成金拡充や認知症施策の充実を図る条例制定に向けて取り組みます。

児童相談所の開設

今年4月、中核市では全国で3番目となる児童相談所「明石こどもセンター」を大久保町に開設しました。市民が一番近い存在である市が設置す

市民の皆様へ

本市は、子ども施策の充実はもちろんのこと、高齢者施策にも力を入れていきます。今後も、時代の変化に的確に対応し、明石市に住んでよかったと思えるまちづくりのため、市民に開かれた議会運営に努めていきます。

議長

おおにし ひろのり
大西 洋紀 (61)

未来明石 6期

議員としての抱負 「心のかよったやさしい政治を！！」

議長に聞く

市議会の市制施行100周年の取り組み

あらゆる世代の市民から市議会に関心を持ってもらえるよう多彩な取り組みを行います。まず、議会の活動や歴史などをまとめた記念誌の作成や、11月に発行する市議会だよりは、特別号として増ページを行います。また、今年も高校生議会を開催するとともに、夏休みには小学生対象の議会体験ツアーを予定しています。なお、すでに募集は終了しましたが、議会開催をお知らせするポスターのデザインを高校生から募

市民の皆様へ

集まりました。先の選挙で30名の議員が選ばれ、これまでの顔ぶれから3分の1が入れ替わりました。議員一人一人、多様な考えを持って、明石を住みよく、安心して暮らせるまちにしたいという思いは同じです。新たな100年の幕開けとなる今年、いつまでも、すべての人が取り残されることのない、やさしいまちを明石から発信できるように全力を尽くします。